

## 中金堂鎮壇具 国宝

これらの品々は寺院の建物の建設を記念する儀式の際に地面に並べられる供物である。これらは、大地の守護神に対する捧げものであり、新しく建てられた建物の長寿と安全を祈願するためのものである。

興福寺の中金堂の地中から、1,800点にのぼる鎮壇具が発見されている。中金堂はこれまで7回も焼失している。これらの品の中には、儀式の道具、金、銀、硬貨、剣、鞠、鏡などがある。1874年出土の鎮壇具は東京国立博物館に、1884年と2001年に出土した鎮壇具は興福寺に保管されている。